

沖縄県 久米島圏域 総合水産基盤整備事業計画

1. 圏域の概要

(1) 水産業の概要

① 圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

当圏域は、沖縄本島から西方約 100 kmの離島に位置する久米島町単独の圏域である。第4種漁港である仲里漁港を流通拠点として、島内に点在する4漁港、1漁協で構成される。圏域全体の陸揚げ金額は約8億7,900万円（令和元年）に上る。なお、圏域内漁業組合における合併に関する協議は行われていない。

圏域に位置する久米島町では、圏域内の沿岸海域においてモズク類の養殖が盛んに行われており、モズク類が圏域内で陸揚げされる水産物全体の約8割を占めているほか、地域資源である海洋深層水を活用し海ぶどう（クビレズタ）養殖や車エビ養殖も行われている。圏域内の流通拠点である仲里漁港では、モズク類やマグロ類等の水産物が陸揚げされるほか、圏域内で生産されたモズク類のほとんどが当該漁港に集約され、モズク類は漁港内の加工施設において加工され、相対取引により県外・県内に出荷されているほか、鮮魚類等の水産物は、当該漁港の産地市場により県内・島内に出荷されており、水産物の安定供給に重要な役割を担っている。また、圏域内の久米島漁協では修学旅行生や地元の小学生を対象とした漁業体験イベントを開催し地域の活性化に貢献しているほか、サンゴ養殖やサンゴに関する勉強会を開催し漁場保全に努めている。

② 主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

圏域における水産物の生産量は令和元年で3,921トンとなっている。主な漁業種類及び魚種として、海藻類養殖業、はえ縄釣りであり、モズク類やマグロ類である。また、主要魚種の生産量は、モズク類で2,135トン、マグロ類で350トンとなっている。圏域全体では、漁協が主体となってウニ類やマガキガイ（禁漁区の設定等）の資源管理に取り組んでいるほか、島内にサンゴ種苗生産施設を整備し、サンゴの増殖のための種苗づくりに取り組んでいることから、今後サンゴ礁の回復による沿岸環境の改善が期待される。

③ 水産物の流通・加工の状況

当圏域では、圏域内の漁港内に1箇所の産地市場が開設されているものの、モズク類を中心とした水産物の多くが相対取引や浜売りにより地域内外に流通さ

れており、一部の水産物で当該産地市場を通して地域内外に出荷されている。また、圏域内にはモズク類の加工施設が1漁港（仲里漁港）で漁港内に隣接されており、ほとんどが一次加工され県外・県内に出荷されている。

④ 養殖業の状況

圏域における主要な養殖水産物の生産量は令和元年で2,110トンとなっている。主な水産物としてモズク類や、海ぶどう（クビレズタ）、車エビであり、特にモズク類においては、圏域内の多くの沿岸海域で盛んに行われており、圏域全体のモズク類陸揚量のすべてを養殖モズク類で占めている。また、仲里漁港においては養殖生産拠点地域に位置づけており、種苗生産から加工まで一貫した体制が整備されている。

⑤ 漁業経営体、漁業就業者（組合員等）の状況

令和元年の圏域内における組合員数は146人、漁業経営体数は145体であり、近年は減少傾向にあることから、県内漁業就業者の年齢構成に鑑みれば、その傾向は継続するものと思われる。

⑥ 水産業の発展のための取組

久米島地区では、浜の活力再生プランにおいて安定した漁獲のため浮魚礁を設置することや取扱水産物の付加価値向上に向けた加工品の開発に向け取り組んでいる。

⑦ 水産基盤整備に関する課題

圏域内における水産基盤においては、水産業の成長産業化の実現に向けた水産物の安定供給の確保、海洋環境の変化に対応した浮魚礁等の整備、漁港・漁村の災害リスクへの対応力強化、漁港施設の予防保全型等の老朽化対策、海業による漁村の活性化、多様な人材が活躍できる漁港・漁村の環境整備などの課題を抱えている。

⑧ 将来的な漁港機能の集約化

集約化の予定なし

(2) 圏域設定の考え方

① 圏域タイプ	養殖・採貝藻型	設定理由；モズク養殖を主とした漁業が営まれ、当該藻類の国内安定供給に資する圏域
② 圏域範囲	久米島町	設定理由；漁業組合の一括管理下で行われているモズク養殖の範囲と流通拠点である仲里漁港を集荷先

		とする範囲。
③ 流通拠点漁港	仲里漁港	<p>設定理由； 仲里漁港は圏域内唯一の第4種漁港で、水産物の取扱量は約2,429トとなっている。圏域内最大の産地市場を有しており、圏域内各漁港から水産物が集荷されている。</p> <p>今後は、輸出先国等のニーズに対応した衛生管理水準を導入するとともに災害発生後も圏域内の流通の拠点としての機能を早期に回復させる体制を整備するため、BCPの策定や災害時の漁港利用者の避難対策を検討する。また、産地市場のICTの導入についても検討する。</p>
④ 生産拠点漁港	該当無し	設定理由；
⑤ 輸出拠点漁港	該当無し	設定理由；

(令和元年)

圏域の属地陸揚量(トン)	2713.1	圏域の登録漁船隻数(隻)	229
圏域の総漁港数	4	圏域内での輸出取扱量(トン)	
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数			

当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	仲里漁港
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	モズク類
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別生産量(収穫量)(トン)	2110.5
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業産出額(百万円)	452

2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

① 拠点漁港等の生産・流通機能の強化

- ・地域の中核的な生産拠点となる漁港において安定した漁業生産等に資する施設機能の強化を図る。
- ・輸出先国等のニーズに対応した衛生管理水準（L2以上）の導入や産地市場のICT化について検討する。

② 養殖生産拠点の形成

- ・養殖生産拠点の形成に向けて、本圏域における主要な養殖水産物であるモズクの養殖作業環境の改善や施設機能の強化を検討し、安定的な供給体制の構築を目指す。

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

① 環境変化に適応した漁場生産力の強化

- ・沿岸域の資源低下等の海洋環境変化に対応し沖合域への漁業展開を促進するため、浮魚礁の整備を行うとともに、海域の環境変化を把握するため亜熱帯海域の重要な基礎生産の場であるサンゴのモニタリングを行う。

② 災害リスクへの対応力強化

- ・地震・津波、波浪等に対し施設の安全性が十分確保されていない漁港において、漁港施設の防災対策を行い漁業地域の安全・安心を確保する。
- ・老朽化が進行している漁港施設において、効率的な維持管理を行うとともに機能保全計画の見直しや予防保全型の老朽化対策を実施することにより、持続可能なインフラ管理を推進する。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

① 「海業」による漁村の活性化

- ・圏域内の漁協において、地域の特性を生かした漁獲物の鮮度向上やブランド化等の漁業所得向上のための取組や「浜の活力再生プラン」を作成・実践し、海業等の多様な取組による地域の活性化を図る。

② 地域の水産業を支える多様な人材の活躍

- ・高齢化等により生産活動を支える人材が減少してきていることから、多様な人材が安全で働きやすい環境が整備されていない漁港において、浮体式船岸や防暑施設等を整備し、就労環境の改善を図る。

3. 目標達成のための具体的な施策

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

① 拠点漁港等の生産・流通機能の強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点
仲里	流通機能強化	水産流通		4	仲里

・産地市場を有し圏域内の漁港から水産物が集約される仲里地区において、輸出先国等のニーズに対応した衛生管理水準（L2以上）の導入やICTの導入による生産活動の効率化等を検討するほか、安定した漁業生産等に資する施設機能の強化として護岸や岸壁等の整備により、産地における価格形成力の向上と生産・流通コストの削減を図る。

② 養殖生産拠点の形成

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点

・養殖生産拠点の形成に向けて、養殖作業環境の改善や加工施設等の機能強化を検討する。

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

① 環境変化に適応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名
沖縄	環境変化	水産環境

・沖縄地区において、沿岸域の資源低下等の海洋環境変化に対応し、沖合域への漁業展開を促進するため、浮魚礁の整備を行うとともに、圏域内の沿岸海域において、海域の環境変化を把握するため亜熱帯海域の重要な基礎生産の場であるサンゴの保全活動（食害生物の除去）やモニタリング調査を行う。

② 災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
仲里	安全・安心	水産流通	仲里	4	仲里
久米島	予防保全	機能保全	儀間	1	仲里

・仲里地区において、地震・津波・波浪等に帯する護岸、岸壁等の安定性を確保するため、防災対策を行うとともに、久米島地区において、老朽化が進行している漁港施設の機能保全計画の見直しや予防保全型の老朽化対策を行う。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

① 「海業」による漁村の活性化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点

・圏域内の漁協において、漁業所得向上のための取組や「浜の活力再生プラン」を作成・実施による地域活性化を図るとともに、地域の漁業実態に応じた漁港の活用促進のため、水域施設や漁港用地等について有効活用を検討する。

②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
儀間	就労環境	漁村再生	儀間	1	仲里
鳥島	就労環境	漁村再生	鳥島	1	仲里

・儀間地区及び鳥島地区において、浮棧橋や防暑施設等を整備し、就労環境の改善を図る。

4. 環境への配慮事項

・整備計画の策定及び工事の実施にあたっては景観、近隣住民との調整に配慮し、施工にあたっては水質悪化により漁業被害、サンゴ礁等に対する環境破壊等が生じることがないように留意する。

5. 水産物流通圏域図

